

福祉保健研修交流センター ウィリング横浜
平成29年度 事業報告書

1 施設の運営に関すること

福祉保健人材の確保・定着・育成の拠点である福祉保健研修交流センター ウィリング横浜の研修・情報提供・交流支援・福利厚生等の事業の充実を図りました。

施設利用者数

	27年度	28年度	29年度
利用者数(人)	212,384	209,673	205,091
研修室等	166,512	165,822	166,433
情報資料室	11,779	10,775	9,375
レストラン(参考)	34,093	33,076	29,283

(1) 研修室等の貸出事業

幅広い層の福祉保健活動従事者に研修施設及び付帯設備を提供するとともに、支障のない範囲で一般の方々にも施設を提供しました。

一部の研修室にて空調機器の故障が発生したため使用を中止し、利用者への周知・代替研修室の案内を速やかに行いました。

研修室・討議室を合計した貸出状況

	27年度	28年度	29年度
貸出室数(室)	13,678	13,275	13,958
稼働率(%)	61.0	61.3	63.7
昼間(9時~17時) 稼働率(%)	71.2	71.0	73.2

目標稼働率(60%、昼間72%)を達成し、前年度よりも増加しました。

これは、インターネット予約システムにより、いつでも空室状況を確認して利用予約できる利便性や、近隣の区社会福祉協議会が実施する、福祉保健関係者が参加する会議における周知、地域紙等を活用した広報などを行った結果だと考えられます。

【参考】研修室・討議室・実習室を合計した貸出状況

	27年度	28年度	29年度
貸出室数(室)	14,857	14,439	15,090
稼働率(%)※	58.0	58.1	60.1
研修室	63.1	61.0	62.2
討議室	57.0	61.9	66.7
介護実習室	41.7	42.0	39.8
調理実習室	27.1	25.0	26.4

※和室稼働率46.3%(空調機器更新工事のため平成29年10月~平成30年3月までの稼働率)

(2) 情報資料室の運営

社会福祉・保健関連分野の図書・資料等を幅広く収集し、貸出や館内閲覧等の方法で提供するほか、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用を行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。特に蔵書の収集については、横浜市社会福祉協議会地域福祉課と連携し、全国の民生委員児童委員協議会発行の、民生委員制度創立100年の記念誌の収集強化を図りました。

今年度初めて、横浜市民生委員児童委員協議会と共催で、テーマに合わせた書籍・定期刊行物等を展示する「企画展」を開催し、多くの方にご利用いただきました。

ア 収集整備状況

	27年度	28年度	29年度	所蔵数
図書・資料（点）	435	474	436	38,991
合冊製本（点）	66	90	69	5,250
逐次刊行物（点）	869	800	819	22,580
ビデオ・DVD（点）	21	31	29	1,174
合計	1,391	1,395	1,353	67,995

イ 利用状況

(ア) 利用者数・館外貸出数

	27年度	28年度	29年度
利用者数（人）	11,779	10,775	9,375
貸出数（件）	5,975	5,397	5,401

(イ) 登録者数

	27年度	28年度	29年度
登録者数（人）	384	343	293

ウ 企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数（人）
1	9月21日～10月4日 2月6日～3月1日	「子どもたちの今～考えよう！私たちにできること～」		218
2	11月15日～12月14日	「民生委員制度 創設100年記念 ～情報資料室企画展～」	横浜市民生委員児童委員協議会共催	111
3	3月2日～3月16日	「読んで 見て 知る 福祉～福祉のヒント探してみませんか？～」	「第2回サントクフェスティバル」連携	66

(3) ご意見・苦情等の受付

ア ご意見箱

館内に設置してあるご意見箱より7件（28年度：11件）のご意見をいただき、回答を館内に掲示しています。また、寄せられた苦情は、0件（28年度：0件）でした。

※ 主なご意見と回答

ご意見（要約）	回答（要約）
<p>【研修室への要望】 研修中、いつも部屋が寒い ためどうかしてほしい。</p>	<p>研修室の室温調整は、一部を除き4階フロントにて行っております。 室温調整は、研修実施機関の担当者からのご指示で行っているため、室温のご要望は担当者へお申し出ください。</p>
<p>【情報資料室への要望】 女性関係の本が少なく困っている。また、ネットで延長などの手続きができるようにしてほしい。</p>	<p>蔵書は、情報資料室のカウンターに掲示している蔵書方針に基づいた図書資料等の収集をしております。 ご希望の書籍等がある場合は、必ずしもご要望に沿えるとは限りませんが、図書リクエストボックスにご投函ください。 延長の手続きは情報資料室の受付の他、お電話でも受け承っております。</p>

イ 窓口満足度調査

来館者に対する窓口満足度調査（11月）を行い、283件の回答をいただきました。結果は、職員の身だしなみや言葉遣い、説明の分かりやすさ等の質問に対して、4点満点中3.8点の評価をいただき、サービス改善に役立てました。

2 施設の維持に関すること

利用者にとって使い心地の良い施設となるため、施設・設備の維持に努めました。

(1) 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を38件行いました。

臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

(2) 清掃業務

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つため、日常清掃と定期清掃を実施しました。

(3) 水質管理業務

調理実習室及び介護実習室Ⅰに配管している中央循環式給湯設備のレジオネラ属菌検査を1回行いました。

(4) 警備関係業務

年中無休、24時間体制で施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の確認を行いました。

3 施設で実施する事業に関すること

(1) 研修事業

福祉保健従事者及び民生委員児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として「よこはま福祉人材育成指針」に求められる人材育成を推進するため、63件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の概念普及」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的

とした研修を実施しました。

平成 26 年度からの組織力（下記ア）及び専門力（下記イ）の研修コース受講者減少を踏まえ、今年度は受講料の見直しを行い、さらに応募率の高かった研修については年度内に同内容で追加実施し、受講ニーズに応えました。その結果前年度と比較して、組織力・専門力研修において合計 749 人の受講者が増えました。

毎年、研修の企画にあたっては、研修の受講者アンケート、施設・事業者へのヒアリング、横浜市社会福祉協議会他部署のアンケート等を検討し受講ニーズの把握に努め、研修を実施しています。その結果、「オ 受講者ふりかえりシート 結果」にあるとおり、受講者からは 96.4%の満足度の評価をいただきました。

研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	27年度	28年度	29年度
研修件数（件）	70	63	63
研修コース数（コース）	90	74	70
研修受講者数（人）	4,735	4,749	7,806
研修開催日数（日）	116	98	93

※ 平成 28 年度は新任民生委員研修(879 人受講、改選時のみ開催)、平成 29 年度は全員研修(3,708 人受講、創立 100 周年事業)の開催がありました。

ア 組織力を高める：29 件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

研修名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1 〔生涯研修課程Ⅰ〕管理職員研修	1	2	36	33
2 〔生涯研修課程Ⅱ〕チームリーダー研修	2	4	72	77
3 〔生涯研修課程Ⅲ〕中堅職員研修	2	6	72	63
4 〔生涯研修課程Ⅳ〕初任者研修～社会人経験者編～	2	6	72	61
5 〔生涯研修課程Ⅴ〕初任者研修～新卒者編～	2	6	72	70
6 トップセミナーⅠ ～社会福祉法人の制度改革と、今後の経営戦略について～	1	1	60	24
7 トップセミナーⅡ（横浜市社協・神奈川県社協・川崎市社協・相模原市社協共催）	1	1	180	92
8 社会福祉施設の経営基礎	1	1	36	18

9	スーパービジョンの基礎理解 ～人材育成を効果的にすすめるために～	1	1	36	33
10	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	46
11	リーダーシップ基礎研修（出張型）	1	1	36	41
12	後輩育成担当者のためのOJT研修	1	2	36	35
13	支援者入門編 ～利用者主体の支援を考える～	1	1	36	49
14	職場研修担当者研修	1	2	36	31
15	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	19
16	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	1	1	36	41
17	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～効果的なリスク管理を目指して～	1	1	36	30
18	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研修	1	1	36	48
19	サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント研修（追加コース）	1	1	36	41
20	業務マニュアル作成・活用研修	1	1	36	37
21	苦情対応基礎研修	1	1	42	47
22	中堅・チームリーダー職員のための接遇研修	1	1	42	47
23	初任者のための接遇研修	1	1	42	36
24	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み方研修	1	1	54	50
25	伝える、伝わる記録の書き方研修	1	1	36	74
26	社会福祉法人新会計基準対応研修 基礎編	1	2	30	45
27	社会福祉法人新会計基準対応研修 応用編	1	2	30	39
28	労務管理研修	1	2	42	40
29	福祉施設・事業所のための広報力向上研修	1	1	36	33
計 29 件		33	53	1,386	1,300

イ 専門力を高める：27件

福祉保健活動従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	〔社会福祉援助技術研修Ⅰ〕 社会福祉援助技術の基礎研修～支援とは何か～	1	1	36	32
2	〔社会福祉援助技術研修Ⅱ〕 面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	1	36	36
3	〔社会福祉援助技術研修Ⅲ〕 アセスメント技術～利用者の心の中を理解する～	1	1	36	36
4	〔社会福祉援助技術研修Ⅳ〕 スーパービジョンの基礎技術～援助者の成長を支 援するために～	1	1	36	35
5	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	36	34
6	精神障害の理解～当事者からのメッセージを交え て～	1	1	60	76
7	福祉保健施設のためのボランティア研修	1	1	36	13
8	レクリエーション研修	1	1	48	47
9	福祉保健従事者・活動者のための「グリーンケア」 講座	1	1	40	29
10	認知症高齢者のケア～認知症高齢者の日常を支え るケアとは～	1	1	48	49
11	チームで認知症ケアを実践！	1	1	36	16
12	口から食べることをチームで支援しよう！	1	1	50	50
13	医療機関との連携の進め方	1	1	36	28
14	制度を学ぶ研修Ⅰ～障害者福祉施策とは～	1	1	60	53
15	制度を学ぶ研修Ⅱ～生活保護制度入門～	1	1	60	117
16	制度を学ぶ研修Ⅲ～親なき後の成年後見～ (障害分野の従事者向け)	1	1	48	34
17	制度を学ぶ研修Ⅳ～成年後見を支援に活かす7つ のポイント～	1	1	48	34
18	制度を学ぶ研修Ⅴ～横浜市の福祉施策～	1	1	60	50
19	コミュニケーション研修（出張型）	1	1	50	64
20	プレゼンテーション研修	1	1	42	47
21	プレゼンテーション研修（出張型）	1	1	42	43

22	ファシリテーション研修	1	2	36	50
23	薬を知って上手に付き合おう～抗うつ薬を中心に～	1	1	50	140
24	児童精神科医に聞く～子どもの発達障害について～	1	1	50	135
25	うつ病の基礎知識	1	1	50	97
26	摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～【市民啓発】	1	1	100	109
27	摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）のメカニズムと誤嚥予防～いつまでもおいしく食事をするために～【市民啓発】（追加コース）	1	1	150	164
計 27 件		27	28	1,380	1,618

ウ 地域力を高める：3件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地域福祉つなぎ隊研修	1	3	36	11
2	福祉施設職員のための「地域とのつながり」講座	1	1	36	19
3	小地域福祉活動推進研修	1	1	800	295
計 3 件		3	5	872	325

エ 横浜市民生委員児童委員研修：4件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	地区会長研修	1	1	261	218
2	主任児童委員研修	1	1	508	396
3	全員研修	1	1	4,500	3,708
4	中堅リーダー養成研修	4	4	262	241
計 4 件		7	7	5,531	4,563

オ 受講者ふりかえりシート 結果

研修内容の理解度 (%)	97.7
講師の指導方法の適切さ (%)	97.3
研修内容の満足度 (%)	95.1
今後の業務への参考度 (%)	95.6
総合 (%)	96.4

アンケート回収率 (%)	95.0
--------------	------

(2) 研修運営関連会議

研修事業をより円滑に進めるために、外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議しました。

また、次年度研修の一部を委託するため、研修企画を公募し選定会議に諮りました。

ア ウィリング横浜研修委員会

ウィリング横浜研修等実施要綱に基づき、各種事業推進の具体性を高めるため、研修委員会を実施し、企画、評価及び進行管理を行いました。

〔委員構成：学識経験者 2 人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関 2 人、行政関係者 1 人、ウィリング横浜 1 人 計 6 人〕

<第 1 回>

開催日：平成 29 年 8 月 3 日（木）

内 容：平成 28 年度ウィリング横浜事業報告について
平成 29 年度研修等の年間スケジュールについて

出席者：委員 4 人

<第 2 回>

開催日：平成 30 年 1 月 24 日（水）

内 容：平成 29 年度事業推進状況（平成 29 年 12 月現在）
平成 30 年度研修等計画（案）について

出席者：委員 5 人

イ 研修企画選定会議の開催

より質の高い研修企画の実現を目的として、ウィリング横浜研修等実施要綱においては団体等に主催研修の一部を委託することができると定めています。今年度は次の 3 研修について受託団体を公募し、研修委員会委員等からなる研修企画選定会議を開催し、受託団体を決定しました。

開催日：平成 30 年 3 月 14 日（水）

内 容：平成 30 年度研修企画の選定について

①リーダーシップ基礎研修（通常・出張型）

②苦情対応基礎研修～リスク入門編～

③ファシリテーション研修

出席者：3 人（内訳：研修委員 2 人、管理運営担当課長 1 人）

(3) 福祉保健従事者養成のための相談の実施

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。

相談受付件数 24 件

(4) よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等の17機関と締結しました。参画機関間における福祉保健分野の人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力に向けた連絡調整等を目的として、全参画機関によって構成する連絡会議を設置しています。その連絡会議の運営及び事業企画等について検討するため、連絡会議参画機関から選出された参画機関による事業企画分科会を設置しています。

ア 参画機関数

	27年度	28年度	29年度
カレッジ参画機関数(※)	17	18	17

※ ウィリング横浜を除く

イ よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の実施

「よこはま福祉人材育成指針」の理念に基づき、各参画機関より申請された研修について選定を行い、カレッジ認定講座としました。

講座数	148講座(内、ウィリング横浜主催研修11講座を含む)
受講者	4,335人(内、ウィリング横浜主催研修883人を含む)

ウ よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参画機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催しました。

<第1回>

開催日：平成29年5月24日(水)

内容：よこはま福祉・保健カレッジ 連絡会議代表・副代表の選出について
よこはま福祉・保健カレッジ 事業企画分科会委員選出について
ウィリング横浜研修委員会 委員の選任について
平成28年度よこはま福祉・保健カレッジ事業報告について
各機関平成29年度事業計画について
その他、情報交換 等

出席者：10機関 12人

<第2回>

開催日：平成30年3月15日(木)

内容：「第2回サントクフェスティバル」実施報告について
研修コンサルティング機能アンケート結果報告について
よこはま福祉・保健カレッジ事業実施要綱の改定について
よこはま福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネットの手順書及び変更点等について

よこはま福祉・保健カレッジ事業企画分科会報告について
 よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する諸手続きについて（覚書締結 等）
 その他、情報交換 等

エ よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

事業企画分科会を中心に、次のとおり連携を進めました。

○参画機関の専門性を生かし、ウィリング横浜の各事業との有機的連携を進めた、市民啓発イベント「第2回サントクフェスティバル」を実施しました。今回は、広く福祉保健活動従事者及び市民の方々によこはま福祉・保健カレッジ事業のカレッジ認定講座について知っていただくために、今年度実施したカレッジ認定講座の中で、特に人気のあったカレッジ認定講座を取り上げ、時間短縮版の研修として実施しました。

○研修コンサルティング機能の一環として、研修相談対応及び講師情報の提供について、カレッジ参画機関にアンケート調査を実施しました。

○参画機関と連携して、人材確保事業として就職支援や定着支援のための講座等を実施しました。

- ・横浜市男女共同参画推進協会「女性のための福祉・介護のしごと出張相談」

- ・介護労働安定センター「福祉施設見学ツアー」「合同就職説明会」

○平成29年度より、カレッジ認定講座が「よこはま福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネット」において、ウィリング横浜の主催研修と併せて申請と掲載ができるようになりました。ウィリング横浜は、カレッジ参画機関が、より便利にカレッジ認定講座の申請ができるよう検討を行い、システムの改善を実施して、カレッジ認定講座の申請マニュアルを整備しました。

(5) 福利厚生事業

こころの相談室の開設

福祉保健関係者の福利厚生や職場環境の改善を目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。相談が必要な方へ相談室の情報が確実に届くよう、事業の周知と浸透を図りました。また、多くの方に活用して頂けるように、今年度から利用の少なかった土曜日の相談枠を半分にし、その分を平日に転換することにより、相談枠の総数を減らさずに開設日数を増やしました。その結果、利用件数が増加しました。

	27年度	28年度	29年度
開設日数(日)	99	99	146
利用件数(件)	139	141	156

(6) 研究事業

ア 調査研究事業

横浜における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を広く募集し、必要な場や情報を提供しました。個々の調査研究事業を支援するとともに、定期的に代表者連絡会を開催し、お互いの研究内容と成果を共有することで、横浜市内の福祉保健サービスの向上に努めました。

また、調査研究団体の研究成果をより多くの幅広い層に周知するため、「第2回サントクフェスティバル」内で研究発表を行いました。

	27年度	28年度	29年度
登録団体数(団体)	10	10	8
登録団体への研修室貸出し数(件)	105	88	66

- イ 代表者連絡会の開催
年2回開催しました。
第1回：平成29年6月16日（金）
第2回：平成29年11月16日（木）

- ウ 研究発表大会の開催
調査研究団体が1年間の研究成果およびミニ講座をポスターセッションの形式で発表しました。より多くの幅広い層に周知するため、「第2回サントクフェスティバル」内で実施しました。
開催日：平成30年3月3日（土）
発表団体数：自主研究団体 8団体（発表または活動掲示）
参加者数：30人

（7）福祉人材の確保・就業支援事業

福祉・介護に理解と意欲のある人材の確保・就労支援事業を目的として、市・県社協等の関係機関、団体の協力を得て実施しました。

- ア 福祉・介護のお仕事個別相談
福祉・介護の求職者等を対象に個別相談を実施しました。
毎週月曜日 14：00～16：00
毎週金曜日 10：00～12：00
開催日数：88日 相談者：70人

- イ 福祉保健人材の発掘
福祉求職者発掘のため、人材確保事業を実施する関係機関や「よこはま福祉・保健カレッジ」と協力し、大学、専門学校、養成校への情報提供やガイダンスを実施し、福祉人材を発掘し、確保及び求職支援を行いました。
（ア）公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会、女性のための福祉・介護のしごと相談 全6回 2人
（イ）区社協就職相談会
5区【泉区、戸塚区（2回）、港南・南・磯子区合同】
参加者274人 うち相談延べ29人
（ウ）その他
職業訓練事業所主催実務者研修受講者相談：44人×2回
職業訓練事業所主催実務者研修受講者ガイダンス：44人×3回
職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会：44人×2回

- エ 福祉のしごと☆魅力発見！事業
福祉の仕事に対する理解を深めるとともに、求職者を発掘し人材確保に繋げることを目的として、福祉の仕事に就職を希望する方や興味関心のある方を対象に、説明会及び相談会を実施しました。

また、福祉業界への就労に興味・関心のある方を対象に、福祉施設の見学と採用担当者及び職員との交流を行うとともに福祉職場最新情報をお伝えする等、就労に向けた情報提供を行いました。

- （ア）福祉施設見学ツアー
開催日：平成29年6月13日（火）・6月23日（金）
参加者：86人 施設数：10施設

- (イ) 職業訓練事業所主催実務者研修受講者合同就職相談会（再掲）
開催日：平成 29 年 9 月 12 日（火）・9 月 13 日（水）
参加者：44 人×2 回
- (ウ) 福祉施設就職説明会&相談会～福祉の資格を知ろう編～（第 2 回サントクフェスティバル）
開催日：平成 30 年 3 月 3 日（土）
参加者：185 人

オ 福祉施設・事業所等の訪問

次を目的に市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

- (ア) ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知
- (イ) 人材確保や育成状況及び施設内外の研修受講実績等の把握
- (ウ) 個別相談に活用するための求人・採用実態、職員構成等の情報収集
- (エ) 「ウェルじゃん」の周知及び活用促進
- (オ) 人材定着の施策、工夫についての情報収集
 - ・訪問件数 20 件

カ 福祉保健交流スペース「ウェルじゃん」の運営

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として、次のとおり運営しました。

- (ア) 「福祉・介護のお仕事 個別相談」（再掲）
- (イ) 書籍コーナー、広報紙・イベント情報コーナー、情報交換コーナーの開設
- (ウ) 求人情報提供コーナーの開設
福祉関係の求人情報を提供しました。
 - ・登録法人数： 20 法人
 - ・求人情報提供数： 204 件

1 施設の運営に関すること

NO	評価項目	実績	評価
1	開館	357日	滞りなく開館することができました。
2	休館日	【通常休館日6日】 12月29日～1月3日 【臨時休館日2日】 6月25日、12月28日	開館時にはできない設備点検、備品確認等を行い、利用者が安心・安全に利用できるよう努めました。
3	研修室等の貸出事業	別添 事業報告書 1P	研修室・討議室の稼働実績は、稼働率63.7%（昼間73.2%）と目標の60%（昼間72%）を上回ることができました。これは、インターネット予約による利便性や地域紙等を活用した広報などによるものと考えられます。
4	急病・緊急時の対応	救急車要請：1件	情報資料室の利用者に1件の体調不良者が発生し、本会職員等がAEDを使用し、救急車の要請を行い、防災センターと連携し迅速に対応しました。
5	情報資料室の運営	別添 事業報告書 2P	<p>蔵書方針に基づき福祉保健関係の資料等について収集を進め、年度末時点で約68,000点を所蔵しています。</p> <p>研修等のテーマに沿った図書展示を行う企画展を年3回開催しました。そのうち子どもに関する企画展は9月に開催後、民生委員対象研修にあわせ2月にも同内容で開催した結果、民生委員の来会や問い合わせが増加しました。また1回は人材確保事業、調査研究事業、よこはま福祉・保健カレッジ事業と連携した「第2回サントクフェスティバル」の中で実施し、情報を発信しました。</p> <p>主催研修では研修テーマに沿った蔵書リストを参加者へ配付するとともに、研修室での蔵書展示を行い、情報資料室の利用促進を行いました。</p> <p>利用促進のために区社協やケアプラザ等幅広く地域の方が利用される施設に周知依頼をし、ウィリング横浜の研修会場利用者へも窓口でチラシの配付を行い、情報資料室の周知に努めました。</p>

6	ご意見・苦情等への受付	別添 事業報告書 2～3 P	<p>館内4か所に設置したご意見箱により、利用者からのご意見を受け付けました。寄せられたご意見や苦情については、職員間で共有し改善に向けて対応をすると共に、対応結果が分かるようにご意見と回答を館内掲示しました。</p> <p>また、11月に約1か月にわたり窓口満足度調査を実施しました。結果、満足度4点満点中3.8点の高評価をいただきました。これらの結果を踏まえ、より円滑な事業推進に役立てました。</p>
---	-------------	-------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 施設の維持に関すること

NO	評価項目	実績	評価
1	建物・設備機器 修繕業務	別添 事業報告書 3 P	<p>修繕は38件実施し、適正な施設維持・管理を図りました。</p> <p>一部の研修室において空調機器の不具合があり、平成28年7月から利用予約の受付及び利用を停止していました。平成29年度中の利用再開に向け、施工業者等との調整を密に行い、更新工事の影響が最小限になるよう努めました。</p> <p>なお、研修室を間仕切りするスライディングドア、照明器具や音響設備、空調設備など経年劣化による修繕が多く、今後も老朽化による修繕は増加することが予想され、大規模な設備更新が必要な時期に来ています。</p>
2	清掃業務	別添 事業報告書 3 P	<p>日常清掃・定期清掃ともに円滑に行い、快適な利用環境を整えました。</p>
3	水質管理業務	別添 事業報告書 3 P	<p>レジオネラ属菌検査を実施し、安全・安心な施設整備に努めました。</p>
4	警備関係業務	別添 事業報告書 3 P	<p>不審者や迷惑行為への対応について、防災センターと連携し迅速に対応し、施設の防犯に努めました。</p>

3 施設で実施する事業に関すること

NO	評価項目	実 績	評 価
1	研修事業	別添 事業報告書 3～8 P	<p>福祉保健従事者や活動者を対象に、「よこはま福祉人材指針」に基づく人材育成を推進するため、研修のコンセプトである「組織力の向上と地域福祉の推進」の実現に向け、全 63 件の研修を実施しました。応募率の高かった 2 研修については年度内に同内容で追加実施し、受講ニーズに応えました。</p> <p>地域福祉の推進では、主催研修において地域福祉活動者の支援につながる研修を開催し、その地域福祉活動者をサポートするために区社協職員対象の研修を指定管理外研修において開催しました。</p> <p>民生委員研修においては、制度創立 100 周年を記念し、全員研修を実施しました。</p> <p>また、研修委員会で研修を含めた各事業の評価及び進行管理と研修評価を行いました。接遇等一部の研修については、研修の効率化を図るために本会で企画立案した研修内容を示して公募を行い、次年度研修に反映させました。</p>
2	よこはま福祉・保健カレッジ事業	別添 事業報告書 9～10P	<p>カレッジ講座を 148 講座開設しました。</p> <p>カレッジ連絡会議を 2 回開催し、分科会の報告に基づきお互いの役割や機能を確認し、意見交換を行いました。</p> <p>カレッジ事業企画分科会は年 4 回実施しました。カレッジ事業の中では、平成 28 年度に初めて人材確保事業及び調査研究事業・情報資料室と連携をした「第 1 回サントクフェスティバル」についての振り返りと検討を行い、「第 2 回サントクフェスティバル」において応募率の高かった連携講座の短縮版を開催し、前年度より多くの来場者がありました。</p> <p>また、よこはまの福祉保健研修情報サイト ハマ・キャリ・ネットでのカレッジ認定講座の掲載内容を改善しました。</p>
3	福利厚生事業	別添 事業報告書 10P	<p>福祉保健従事者を対象とした相談室事業「こころの相談室」については、対象者ごとのチラシを作成し周知しました。昨年度の開催曜日と時間数についての検討を受け今年度は利用の少ない土曜の 4 時間分から平日へ 2 時間分を充て、利用可能な日数を増やした結果、利用者が増加しました。</p>

4	研究事業	別添 事業報告書 10～11P	<p>研究の成果を多くの人に周知するため、「第2回サントクフェスティバル」において研究発表や活動掲示等を行いました。</p> <p>また、次年度以降の調査研究事業の拡充についての検討を行い、調査研究事業実施要綱を一部改訂しました。</p>
5	福祉人材の確保・就業支援事業	別添 事業報告書 11～12P	<p>福祉・介護に理解と意欲のある人材の確保・就労支援事業として、区・市・県社協等の関係機関、団体と連携し個別相談や合同相談を行いました。現場で働く様子を直接見学し従事者に質問できる福祉施設見学会等を実施し、急務である福祉人材確保につながるよう努めました。見学施設の選出については市社協の福祉部会と連携しました。</p> <p>また、「第2回サントクフェスティバル」において福祉の国家資格保持者によるパネルディスカッションと個別相談会を行いました。</p>

平成29年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 収支決算書

収入

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
受託金収入	189,441,600	6,510,000	195,951,600	0	195,951,600	
横浜市指定管理料	189,441,600	0	189,441,600	0	189,441,600	
横浜市受託金収入	0	6,510,000	6,510,000	0	6,510,000	
分担金収入	0	40,156	40,156	0	40,156	
事業収入	68,519,458	53,978,172	122,497,630	△ 4,005,750	118,491,880	
参加費収入	8,590,000	52,511,000	61,101,000	△ 3,500	61,097,500	研修参加費
利用料収入	59,868,910	0	59,868,910	△ 4,002,250	55,866,660	研修室等利用料等
広告料収入	0	0	0	0	0	
手数料収入	60,548	1,467,172	1,527,720	0	1,527,720	運送サービス受付取扱手数料等
負担金収入	891,702	267,124	1,158,826	0	1,158,826	
利用料等負担金収入	461,970	0	461,970	0	461,970	コピー機利用料
負担金収入	429,732	267,124	696,856	0	696,856	研修テキスト代等
受取利息配当金収入	794	0	794	0	794	
雑収入	2,424,189	0	2,424,189	0	2,424,189	自動販売機販売手数料等
サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	
収入計	261,277,743	60,795,452	322,073,195	△ 4,005,750	318,067,445	

支出

項目	指定管理	指定管理外	合計	内部取引消去	内部取引消去後 合計	備考欄
人件費支出	114,897,903	10,310,800	125,208,703	0	125,208,703	
職員給料支出	56,970,534	7,506,000	64,476,534	0	64,476,534	
職員俸給	47,929,000	5,735,600	53,664,600	0	53,664,600	
職員諸手当	7,052,254	1,653,600	8,705,854	0	8,705,854	
通勤手当	1,989,280	116,800	2,106,080	0	2,106,080	
職員賞与支出	14,949,140	1,310,400	16,259,540	0	16,259,540	
非常勤職員給与支出	28,809,407	240,000	29,049,407	0	29,049,407	
法定福利費支出	14,168,822	1,254,400	15,423,222	0	15,423,222	社会保険料
事業費支出	131,533,104	31,444,896	162,978,000	△ 4,002,250	158,975,750	
水道光熱費支出	26,730,190	0	26,730,190	0	26,730,190	
消耗品費支出	3,969,772	806,602	4,776,374	0	4,776,374	事務用品等
器具什器費支出	1,197,588	0	1,197,588	0	1,197,588	机、パソコン等
保険料支出	139,640	0	139,640	0	139,640	施設賠償保険等
賃借料支出	1,781,861	5,102,198	6,884,059	△ 4,002,250	2,881,809	図書管理システム用機器、AEDリース等
諸謝金費支出	4,537,066	13,403,798	17,940,864	0	17,940,864	講師謝金等
旅費交通費支出	286,080	63,757	349,837	0	349,837	職員業務出張旅費
印刷製本費支出	972,096	2,196,761	3,168,857	0	3,168,857	研修資料印刷費等
修繕費支出	2,392,156	421,966	2,814,122	0	2,814,122	館内設備修理
通信運搬費支出	2,009,352	1,107,362	3,116,714	0	3,116,714	研修受講通知等送付、電話料金等
会議費支出	115,000	1,096,444	1,211,444	0	1,211,444	費用弁償等
広報費支出	265,440	0	265,440	0	265,440	貸会議室広告掲載費等
業務委託費支出	72,894,214	964,440	73,858,654	0	73,858,654	施設保守管理費等
手数料支出	1,778,085	14,608	1,792,693	0	1,792,693	振込手数料等
租税公課支出	10,362,906	746,000	11,108,906	0	11,108,906	消費税等
教材費支出	0	5,520,960	5,520,960	0	5,520,960	研修テキスト購入
蔵書購入費支出	1,712,498	0	1,712,498	0	1,712,498	情報資料室図書等購入
雑支出	389,160	0	389,160	0	389,160	
事務費支出	554,529	24,800	579,329	△ 3,500	575,829	
福利厚生費支出(事務費)	352,657	24,800	377,457	0	377,457	健康診断費用等
研修研究費支出(事務費)	150,832	0	150,832	△ 3,500	147,332	
広報費支出(事務費)	41,040	0	41,040	0	41,040	
諸会費支出(事務費)	10,000	0	10,000	0	10,000	
分担金支出	0	0	0	0	0	
負担金支出	7,000	0	7,000	0	7,000	
その他支出	0	0	0	0	0	
固定資産取得支出	124,000	848,642	972,642	0	972,642	冷蔵庫等
事業区分間繰入金支出	8,681,661	655,700	9,337,361	0	9,337,361	退職積立金、法人共通経費
サービス区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	
支出計	255,798,197	43,284,838	299,083,035	△ 4,005,750	295,077,285	

収入計-支出計	5,479,546	17,510,614	22,990,160
前期末支払資金残高	33,819,997	59,087,034	92,907,031

当期末支払資金残高	39,299,543	76,597,648	115,897,191
-----------	------------	------------	-------------